

数年前まではテレビの見過ぎやテレビゲームにのめりこむ子ども達の問題として本を読み切る力や文章理解力の低下、何かに集中して取り組む意欲をそぐことが問題視されていた。以前本欄でも書かせてもらいましたが特に乳幼児期に子守代わりにテレビばかり見せていると、集中力が身につかず、人と顔を見て話すのを避けるようになり、人間関係構築力が育たなくなる障害が、小児科医から指摘されて大きな問題となっております。

人は赤ちゃん(三歳までの)時の育て方が一生を決めるといわれています。表情が少なく、笑わない、泣かない、声を出さない、呼んでも振り向かない、視線が合わない、これらの特徴を持つ「新しいタイプの言葉の遅れ」の子どもが増えています。(サイレントベビーと言われなくてもいいです。)

これらの問題は本人の持つて生まれた個性とも関係しますが、授乳中や食事時のテレビ・ビデオ、スマホをやめて赤ちゃんの目を見て話しかける、絵本を読み聞かせる、歌を歌ってあげることにより改善されます。赤ちゃんは、親しい大人との応答的環境の中で自分のことを認識し、他者との関係を学び、心を育てます。つまり、応答的環境のなかでこそ赤ちゃんの

心は育ち、人間らしく成長ができるのです。それがもし母親がテレビ・ビデオを子守にさせ、スマホをしながら授乳をしていたらどうでしょう。テレビは赤ちゃんの働きかけには一切反応しません。言葉をかけることも、感情のやりとりをするともありません。そこには応答的環境とは関係ない光と音の刺激のみの世界です。テレビ以外にもビデオ、CD、テープ、電子おもちゃも同じことです。

こうした環境では、子どもの心は育ちません。自己も他者も認識できずにコミュニケーション能力は育ちません。お母さんをはじめとする大人との豊かで濃密な言葉や表情の交わりがない子どもは、その後いかにたくさんの子どもや大人の中で過ごしても社会性の基本は獲得することが困難となります。

昔から「三つ子の魂百までも」と言われている諺がありますがまさにこれらのことを指しているのではないのでしょうか。子どもは本能的に潤いのある親からのスキンシップを求めています。顔を向け、しっかりと目を見つめて話しかけることによって人との関わりをはじめとして様々なことを学びます。



## 「スマホ時代の子育ての問題点」

青少年への声かけ・あいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市民会議編集委員

### 広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ先：行政管理課 秘書広報担当

### 広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月  
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄